

躍進する有機化学

企画担当：有機合成化学協会東海支部

安藤 香織（岐阜大学）

村井 利昭（岐阜大学）

有機化合物の結合切断や結合形成のための新しい方法論の開発が分子レベルで広く行われている。これによってこれまでは合成に多段階を要する、あるいは合成が困難だった様々な魅力的な有機化合物が導かれている。それらをモデルにした化学結合の本質の解明も進展し、さらに新規化合物群の基本的な性質を最大限に発揮させることで、新しい分子触媒や生体機能解明のためのプローブ、さらには外部刺激に応答した光、電気特性の変化を活用した機能性分子も生み出されている。そこで討論会は、これらの「躍進する有機化学」に関する最近の話題が披露されて、活発に質疑応答される場としたい。

招待講演

(1) 秋山隆彦（学習院大学理学部）

「キラリリン酸の開発と新展開」

(2) 細谷孝充（東医歯大生材研・理研 CLST）

「化学と生命科学を革新する有機化学の開拓を目指して：岐阜大学ではじめた研究の現状」

依頼講演

(1) 眞鍋 敬（静岡県立大学薬学部）

「安全・簡便有機合成を指向した Pd 触媒反応」

(2) 築地 真也（名古屋工業大学材料科学フロンティア研究院）

「有機化学と分子生物学による細胞機能の自在制御を目指して」

(3) 横島 聡（名古屋大学大学院創薬科学研究科）

「リコポジウムアルカロイドの合成研究」

(4) 笹森貴裕（名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科）

「高周期典型元素を活用した有機化学」

* 関連の一般発表を募集します。講演時間は20分（発表15分，討論5分）

学生さんは有機合成化学協会東海支部によるVIP賞の表彰対象です。